

# 平成 26 年度 北上小学校区きずなづくりトーク トークまとめ

5月30日(金)に開催された「北上小学校区きずなづくりトーク」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。トークのまとめができましたので、送付いたします。

なお、北上小校区では、【防災訓練】【子どもの健全育成】【高齢者】の3つの分野について、意見交換や情報共有が行われました。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



皆さん、ご参加ありがとうございました。

## 【当日参加団体一覧】

団体名		
芙蓉台自治会	民生委員・児童委員	北上中学校
萩町内会	芙蓉会	子ども会連合会
徳倉第5自治会	消防団第4分団	学校支援地域本部
徳倉第6町内会	私立しらゆり幼稚園	地域包括支援センター
環境美化推進委員会	私立ピーターパン幼稚園	地域づくりコーディネーター
スポーツ推進委員会	北上小学校	萩子ども会
体育振興会	北上小学校PTA	保護司会

※当日参加者 32 名

アンケート：分野ごと最も話したいテーマについて、参加者の希望を伺いました。



## 【会場アンケート結果】

	検討テーマ
防災訓練	①中学生が活躍できる防災訓練とは?.....10人 ②災害に対応できる防災組織を目指そう!.....15人 ③要援護者をどのように助けるか?.....5人
子どもの健全育成	①あいさつや見守りを進めよう!.....12人 ②地域住民が参加しやすい取組みとは?.....10人 ③地域の教育力を活かそう!.....9人
高齢者	①高齢者に地域で活躍してもらうには?.....18人 ②見守りの協力体制を考えよう!.....6人 ③老人会活動を充実させよう!.....7人

下記のテーマにもとづいて発言された内容について、現状・課題を「今まで」、課題解決につながる取り組み・アイデアを「これから」に分類しまとめました。（○：参加者発言 ●：市長発言）

## 【防災訓練】

今まで	これから
<b>テーマ① 中学生が活躍できる防災訓練とは？</b>	
<p>○芙蓉台では、中学生に色々ボランティアをお願いしている。仕事の内容をはっきりさせ責任を持たせると、中学生は活躍できる。</p> <p>○東日本大震災が発生した年、中学一年の息子が「夏休みに被災地でボランティアしたい」という希望を持っていた。</p> <p>○北上中学校でも、中学生が活躍できる訓練について日ごろから考えている。地域の訓練には必ず参加するよう話してきた。今年の2年生は1年生の時に宿泊訓練を行い、担架の運搬、AEDの使用方法、心肺蘇生の仕方など、消防署の方にレクチャーしてもらっている。</p> <p>○ピーターパン幼稚園は北上中学校が第2避難所になっている。年1回中学校への避難訓練を実施しているが、防災頭巾をかぶりよたよた歩く園児146名を、職員14名で避難させることはとても大変。</p>	<p>○「こういう訓練をやる」と内容をきちんと説明すると、中学生は一生懸命やってくれる。目的意識を持たせることが一番大事。</p> <p>○中学生でも被災地や避難所で活躍できる訓練を、ぜひやって頂きたい。</p> <p>○1回体験したからといって全てがわかるわけではない。色々な場で訓練を繰り返しやりながら覚えていけばいい。そう考えて、中学校では避難訓練プラス体験的な学習を取り入れている。</p> <p>○地域でも防災面で中学生を指導し、成長するよう見守って頂きたい。</p> <p>○中学校で防災指導を行う際に、「大震災が発生したら幼稚園児が逃げてくるので、少し手伝ってもらいたい」といった声かけを、生徒に行なってほしい。中学生は9月頃に幼稚園にボランティアに来ているので、園児に安心感がある。中学校へ避難後、中学生が園児と手をつないでくれるだけでも、安心して保護者を待っていただけるのではないかと思う。</p> <p>●南中学校では災害発生時、南幼稚園の園児を中学生が避難させる体制になっている。参考にしてほしい。</p>
<b>テーマ② 災害に対応できる防災組織を目指そう！</b>	
<p>○北上小学校区として、統一した防災訓練は実施していない。大災害が起きた場合、避難所運営訓練をしていないのは問題。今後の課題だと思う。</p> <p>○防災役員が1年で終わっていて、専門的な知識の積み重ねがない。</p> <p>○防災委員は現役世代なので、時間を割いて集まり専門知識を習得していくことは相当厳しいことだと思うが、長い期間頑張ってもらいたい</p> <p>○第4分団は、8月に実施している地域の防災委員向け講習などを通して、防災委員が訓練で何らかの役割を果たすようお願いしてきた。</p>	<p>●今年度、避難所運営訓練を行なうのでぜひ参加してほしい。避難所は家が倒壊などで使用できない方が避難生活を送る場所。錦田地区では、自治会長・自主防災会会長は自分の町内を見る必要があるので、避難所運営を専門の委員に任せている。</p> <p>○ある程度、組織の長期的な固定化をはかり、専門的にした方がいいのではないかと思う。</p> <p>●県で行なっている「防災士養成講座」に町内から参加する場合、補助金が出るので活用してほしい。市ではより簡便な防災講座を行っている。ぜひ受講して頂きたい</p> <p>○防災委員は三角巾や応急担架など何か一つでも覚えて、訓練時、前に出て指導してほしい。その繰り返しで、多くの方を訓練に呼ぶと思う。</p>

今まで	これから
<p>○ 販売人なので、行事が土日になると参加できない。子ども会の行事や、地域の訓練、地域の清掃なども参加できず、迷惑をかけてしまう。</p> <p>○ 中学生以上の方(高校生、大学生)、外国から来ている方、地域に下宿されている方もいる。そういった方も防災に参加したらいいのではないか。</p> <p>○ 他市に勤めている三島市民、三島に会社があり働きに来ている方など、三島市外へ向けたリーフレットを作成し、三島市の防災の取り組み等を発信するといったのではないか。</p> <p>○ 富士山噴火に対して、個々の理解がまちまち。市では噴火の対応についてどういったスタンスを持っているのか伺いたい。</p>	<p>訓練の参加者の中から「消防団は無理でも防災委員はやれる」という若い方が出てきてくれればいい。</p> <p>○ 参加できない現役世代のための「ネットを使ったコミュニティ」があるといいのでは。ネットを使わない方のことも考え、何かうまく融合したようなものがあるといい。</p> <p>○ 今後、高校生や大学生にも声をかけていくことを検討している。</p> <p>○ 小中学校を巻き込み、地域全体で訓練ができればいいと思う。</p> <p>● 市の防災訓練の情報は、「みしまるホットメール」で見られるようになってきている。そこに登録していただきたい。</p> <p>● 小山町、御殿場市、裾野市からの避難計画を作成し、静岡県東部地区に配布した。その避難計画は静岡県、山梨県、神奈川県 の 3 県の連絡会に提案している。地震などと異なり、噴火は観測、衛星などで予知できる。噴火しそうな時はその時点で対策をとることになる。</p>
<p><b>テーマ③ 要援護者をどのように助けるか？</b></p>	
<p>○ 要援護者の救助については、具体的にどういう風にすればいいのかわからない</p> <p>○ 「黄色いハンカチ作戦」は、その家に動ける人がいないとハンカチを玄関に掲げられない。</p> <p>○ 芙蓉台では要援護者登録や支援ボランティアを立ち上げ、今年で5年目になる。現在、要援護者の登録は 28 名。日ごろから見守りを行なっている。</p> <p>○ 災害発生時、支援ボランティアは要援護者の安否確認をして、救助要請があった場合に本部に連絡し、本部から人を出すというルール作りをしている。一人で支援するのは難しいので、支援者を5グループに分け、5～6 人の要援護者に対し、10～15 人ほどの支援ボランティアを配置している。</p> <p>○ 支援者やボランティアが不足している。現役の方が支援者登録をするのは、やはり難しい。</p>	<p>○ 組など小さいコミュニティの中で、誰かが要援護者の見守りを受け持つ必要があるのではないか。それには大きい組織ではなく、小さい組織をいくつも作っていく必要があると思う。</p> <p>● 「黄色いハンカチ」は、我が家は無事という印。迅速は安否確認ができる。ぜひ各町内で取り組み、訓練時から掲げるよう徹底してほしい。</p> <p>● 要援護者は一人暮らしの高齢者、障害のある方。民生委員が調査し、要援護者リストを作成している。リストは「救助を必要している方」、「救助を必要としていない方」の2つある。「救助を必要としている方」については、町内でサポート計画を立てることになっている。ぜひ芙蓉台の取組みを参考にしてほしい。「救助を必要としていない方」のリストは封をしておき、災害が発生した場合に安否確認に活用してほしい。</p>

## 【子どもの健全育成】

今まで	これから
<b>テーマ① あいさつや見守りを進めよう！</b>	
<p>○朝 6:30～7:30、芙蓉台をウォーキングしている。10年ほど続けているが、芙蓉台と見晴台の子はよくあいさつしてくれる。</p> <p>○8年程子どもの見守りに立っているが、萩の子も徳倉の子も、あいさつはしっかりしてくれている。</p> <p>○北上小学校では「地域でもあいさつのできる子」を目指している。</p> <p>○3年生の子どもがいる。通学時は保護者や役員が見守ってくれている。下校時は保護者の見守りはないが、スクールガードが毎回必ずいて声をかけてくれる。子どもたちもあいさつをしっかりとできるようになっている。</p> <p>○登下校時の不審者情報も多いので、子どもは警戒感をもっている。特に成人男性から、「子どもに警戒されると声をかけにくくなる」と聞いたことがある。そういうことがなくなればいいと思う。</p> <p>○子どもたちよりも、大人の方があいさつできていない。</p>	<p>○初めて会う小中学生はあいさつがなくても、2～3回同じ局面で会うと、必ずあいさつしてくれるようになる。</p> <p>○地域の方々からの声かけがあることで、子どもたちも安心してあいさつする。顔見知りになれば大人も子どもも自分からあいさつするようになる。やはりあいさつは人と人を結ぶ第一歩。あいさつしあう北上地区になればいいと思う。</p> <p>○スクールガードなど地域の大人の見守りが、安全な通学にたいへん貢献している。これからも子どもたちを見たら、地域の大人がどンドン声をかけてほしい。</p> <p>●この校区はあいさつ運動やスクールガードの活動が素晴らしい。「いかのおすし」という言葉があり、子ども達は不審者に気をつけるよう教えられていることを念頭に置いて、活動に取り組んでほしい。</p> <p>○健全育成は、地域の大人も含めたあいさつ運動をしっかりとやったらいいと思う。地域のあいさつ運動に対して、市で何らかのお祝い(奨励賞など)をしてもらえれば、やりがいもあるし張り切って取り組めるのではないか。</p>
<b>テーマ② 地域住民が参加しやすい取り組みとは？</b>	
<p>○子ども会の現状は、色々工夫しているが子ども会に入ってくれない家庭が多く困っている。</p> <p>○三島市子ども会連合会に入っている校区は、現在14校区のうち9校区のみ。実は一昨年、北上小学校区も抜けるという話が出たが、本部役員で話し合い、留まってもらった経緯がある。</p> <p>○体育振興会は、グラウンドゴルフやハイキング等多数の行事を行なっている。一回に250～300人ほどの参加があり、高齢者の方も多く参加。多くの方が参加すればコミュニケーションもとれる。そういう時に市長に顔を出してもらえないか。一声かけて頂ければモチベーションもあがると思うので、ぜひご協力をお願いしたい。</p>	<p>●子ども会がピンチになっている状況。三島市PTA連絡協議会でPTAからも子ども会活動をサポートしてほしいとお願いしておいた。自治会でも子ども会のサポートをして頂きたい。</p> <p>○スポーツを通じて北上地区を盛り上げていきたい。</p> <p>●連絡会・協議会があれば、スポーツのイベント情報を皆さんで共有できる。また保健委員の介護予防講座の日程や民生委員の活動内容なども共有できるようになる。</p> <p>●地域がきずなを深めるにはお祭り、運動会、防災訓練という3つの活動に多く参加してもらうことが大事。</p>

今まで	これから
<b>テーマ③ 地域の教育力を活かそう！</b>	
<p>○今年度、北上中に学校支援地域本部実行委員会が設立され、2月から相談会を実施している。地域の教育力を高めることが、学校支援地域本部の最大の目的。</p> <p>●子どもの教育は学校、家庭、地域で連携していく体制が進んでいる。</p> <p>○中学2年生は職業体験学習を行う。現在、地域の中で体験場所を捜している。農業、建築、介護、幼稚園など、様々な所に声をかけている。</p> <p>○子どもたちは色々な方とふれあう中で成長し、地域の方から学ぶ機会があると、自分の住んでいる地域が好きになっていく。</p>	<p>○子どもが身につけるべきこととして、(1)自分の未来を切り開く力、(2)自然環境を考える力、(3)弱者にはいたわりの心、目上の方には敬う心を持つこと、(4)コミュニケーション能力の4点があると思う。子どもたちに上記の能力を身につけさせることが、地域の教育力だと思う。</p> <p>○北上中学校の2年生148名が十分に活躍できる職業体験場所をぜひ地域で開拓したいと思うので、皆様のご協力をお願いしたい。</p> <p>○昔の遊びや野菜作りなど学校の先生より上手な方もいる。そういう方から学ぶ機会を意図的に作ることで、この地域に住んで良かったと思える子どもたちが育っていくと思う。</p>

**【高齢者】**

今まで	これから
<b>テーマ① 高齢者に地域で活躍してもらうには？</b>	
<p>○奉仕の原点は子どもの頃に育まれる。戦後の復興期は火事が多く、小学校では火の用心の見回りを行った。中学校、高校ではボーイスカウトに入り長年奉仕してきた。</p>	<p>○子どもの時からボランティア精神を植え付けることが大事。現在72歳だが、保護司として犯罪者の改善や更生のお手伝いをしている。あと3年で定年になるので、その時はふるって保護司に手を挙げて頂きたい。</p>
<b>テーマ② 見守りの協力体制を考えよう！</b>	
<p>○芙蓉台の芙蓉会では食事会、富士ビレッジでは自治会が中心になりお茶会を実施。また光ヶ丘では、民生委員が中心になり、健康づくりを兼ねて「ほほえみ(歩歩笑)サロン」を実施している。</p>	<p>○各自治会でも、高齢者の集まる場づくりをぜひ検討して頂きたい。協力が必要ならば、包括支援センターに声をかけてほしい。</p> <p>○見守りの協力体制が孤独死の発生抑止につながると思われる。</p> <p>●若松町の集会場では高齢者がコミュニティカフェを開いている。新しい取組みとして、放課後児童クラブ代わりにコミュニティカフェを利用することを検討し始めている。放課後児童クラブは小学校3年生までを預かる場所なので、コミュニティカフェでは6年生までを対象にし、保護者が交代で子どもを見守ることなどを話し合っている。ぜひ見学に行ってみてほしい。コミュニティカフェをやりたいという町内があれば、立ち上げ時に補助金が出るので活用して頂きたい。</p>
<b>テーマ③ 老人会活動を充実させよう！</b>	
<p>※時間の都合により割愛</p>	

今後の地域活動の参考にしてください！